

コロナ禍における議会の活動 ~議会閉会中編~

名古屋市には、市の仕事を6つに分けて専門的に話し合う「常任委員会」と、特に必要な問題を調査するために設置した「特別委員会」があります。1つの委員会の人数は11人から12人で、議員全員がどれか一つの常任委員会と特別委員会に所属しています。

委員会は、議会が閉会している間も、市の仕事のチェックなどさまざまな活動を行っています。



委員会室の様子

現在新型コロナウイルス感染症対策でアクリル板を設置しています

私は、6つある常任委員会の中でも、保健所などの部門を担当する「財政福祉委員会」に所属しています。委員会では、担当の職員から詳しい説明や報告を受けて質問や要望を行い、市の仕事が正しく行われているかチェックしています。

実際の
名古屋市の
では…

全常任委員会で新型コロナウイルス感染症への対応状況を調査!

令和2年6月、すべての常任委員会で市役所各部門の新型コロナウイルス感染症への対応状況について調査を行いました。

★ 説明 ★

議会閉会中の委員会活動

議会が閉会している間も、委員会はさまざまな活動を行っています。

名古屋市の委員会は、約800ある全国の市議会の中でトップクラスの開催日数を誇っています。

■市の仕事のチェック

市が新しい仕事を行う場合などには、市からの詳しい説明や報告を受けて質問や要望を行い、市の仕事が正しく行われるようチェックします。

■施設などの調査

市が新しく施設をつくった場合などには、実際にその場所へ行き、その様子を調査します。

■先進都市の調査

今後のまちづくりの参考とするため、見本となるような都市を調査します。

■市民や会社などとの意見交換

市の仕事にかかわりの深い市民や会社などと市民の暮らしに関する問題などについて話し合いをしています。

■請願・陳情の審査

市会に文章で希望を伝える制度の1つである「請願・陳情」について市からの意見を聞くなどの審査を行い、必要がある場合には、市長などにその実現を求めます。

■要望活動

国、県や公共性の高い仕事をしている会社などに対して市民の希望がかなうように求めています。

コロナ禍における議会の活動 ~意見書提出編~

市民の暮らしに関する身近な問題でも、それが国などの仕事であるため、名古屋市だけでは解決できないことがあります。このような場合には、名古屋市の意見を法律で決められた「意見書」として国などに提出して、市民の希望がかなうよう求めていきます。



意見書



実際の
名古屋市の
では…

コロナ対策に関する意見書を国に提出!

令和2年5月、緊急に提出する必要があるため、議会の構成を決めるために開かれる5月臨時会では異例ですが「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書」を可決し、国に提出しました。



クスノキユリの活動はまだまだ続く!!

名古屋市ウェブサイト(市会情報)

名古屋市ウェブサイト(市会情報)では、名古屋市のさまざまな情報を掲載しています。



本会議・常任委員会・特別委員会は、インターネットで生中継と録画中継(過去1年分)を行っています。

視聴はこちら



これからも名古屋市が皆さんにとって住みよいまちとなるよう、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、さまざまな課題に取り組んでいきます。

名古屋市の活動については、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でも掲載していますので、ぜひご覧ください。



パソコン

スマートフォン

タブレット端末

